



私が描く
2023年の
北海道
日本

環境と経済の好循環を 国内外に発信できる1年に

北海道知事
鈴木 直道氏

社会経済活動を維持

3年が経過したコロナ対策への取り組みをはじめ、道内各地を精力的に訪問。23年は「アドベンチャートラベル・ワールドサミット」「G7気候・エネルギー・環境大臣会合」などで北海道の魅力を世界に発信していく。
(取材・11月28日、道庁知事応接室)

——まずはコロナ対策について。観光などでは経済の回復もみられますが、道としてどのような対策を。

鈴木 専門家の中では第8波とも言われる感染の拡大ですが、全国の中でも北海道は人口10万人あたりの感染者数でいうと最も多い状況になっています。道としては、インフラエンザとの同時流行に備え、医療機関に最

大限ご協力いただいた場合に、1日約3万1000人を診療できる体制整備を進めています。こうした感染対策と共に社会経済活動を

できる限り維持しながら取り組みを進めていくという方針の下で、現在は取り組んでいきます。一部、観光需要喚起策の効果も表れてきていると思います。——新たな課題については。

鈴木 今後も新型コロナウイルスの感染拡大だけでなく、ロシアによるウクライナ侵攻を契機とした、物価上昇や円安など様々な課題があります。

こうした中、政府の総合経済対策や道としての緊急経済対策について、しっかりと道民の皆様や事業者の方々をお支えしながら、今後に対応していきたいと考えています。

——物価上昇の対策は。鈴木 今般の様々な影響を踏まえた中での緊急経済対策、これには道として総額1003億円の予算措置を講じています。この中には道民の皆様や中小規模事業者の方々に対する支援、また生活に困窮する皆様に対する支援な

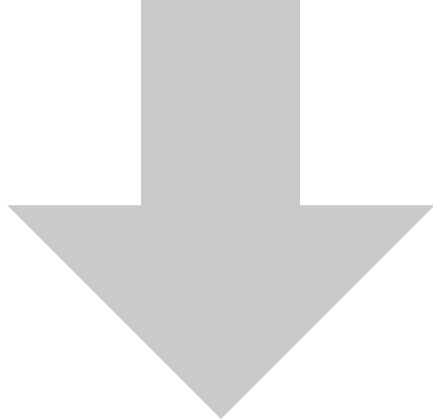
どの対策が含まれます。

また、政府の総合経済対策や成立した補正予算なども踏まえながら議会での議論を進め、道としての支援内容についても検討していきたいと思っています。

——北海道新幹線の延伸に伴い、札幌駅前の再開発も進んでいます。交通インフラに対してはどうでしょう。鈴木 そうですね。北海道新幹線については、2030年度末の札幌延伸に向けて、22年度

〈すずき なおみち〉

埼玉県出身。高校卒業後、99年4月東京都庁入庁。2004年法政大学法学部法律学科卒業(都庁に勤めながら4年間で卒業)。08年夕張市へ派遣。10年4月内閣府地域主権戦略室へ出向、夕張市行政参与。同年11月東京都庁退庁。11年4月夕張市長選に出馬、2期当選。19年2月夕張市長辞職。同年4月北海道知事選に出馬、当選。現在1期目。



続きは『**月刊クオリティ**』本誌を
ご覧ください。

▼ ご購読のお申し込みは ▼

○インターネットでのお申し込みはこちらから
<https://qualitynet.co.jp/koudoku/>

○お電話でのお申し込みはこちらから

TEL 011-644-0101

(9:00 ~ 17:30 土日・祝日をのぞく)